

総合戦略の重点業績評価指標(KPI)に関する資料(令和5年度実績)

目標値には達成していないものの、前年度よりは実績が向上し(維持)目標値に近づいた。
基準値を上回り(維持し)、目標値に近づいた。
目標値を達成した。

政策分野1 七戸町の経済効果をもたらすこと・雇用を創出する

政策分野	重点業績評価指標(KPI)	担当課	KPI算定式 (指標値の把握方法)	目標値 (令和6年度)	基準値		実績 (令和2年度)	実績 (令和3年度)	実績 (令和4年度)	実績 (令和5年度)	R5実績に関するコメント	目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和5年度中に実施した具体的事業・取り組み)
					平成29年	30億円						
1-1 農家の所得向上の推進	野菜販売額	農林課	市町村別農業産出額	31億円	平成29年	30億円	27億円	27.1億円	21.8億	14億円	天候不順、生産者の高齢化等で基準値を下回る販売実績になっているが、今後も販路拡大しながら販売額の向上を目指す(両農協販売実績により)	野菜生産振興事業費補助金 農業用機械等購入事業費補助金
	野菜作付面積	農林課	農林水産関係市町村別統計	3,150ha	平成29年	3,106ha	3,090ha	3,080ha	3,080ha	3,070ha	運作障害等の理由により基準値の面積から減少傾向にある。	野菜生産振興事業費補助金 農業用機械等購入事業費補助金
	畑作関連補助金申請件数(年間)	農林課	補助金件数	65件	平成30年	61件	44件	206件	170件	105件	資材、機械等の価格高騰により、新規導入数の減少傾向にある。	野菜生産振興事業費補助金 農業用機械等購入事業費補助金
1-2 新規就農者の増加	認定新規就農者(認定登録者数)	農林課	認定登録者数	15人	平成30年	10人	10人	11人	15人	15人	認定新規就農者の仕組みや優遇措置等について周知徹底し、増加を目指す。	新規就農者定着化支援事業
1-3 安定した雇用の確保と安心して働ける環境の整備	創業支援相談人数(年間延べ)	商工観光課	相談人数	40人	平成30年	22人	14人	5人	4人	3件	相談件数3件全てが創業した。	特記事項なし(創業支援セミナーの開催を予定していたが、未実施)
1-4 道の駅を拠点とした地域産業の振興	観光消費額	商工観光課	消費額	1,000百万円	平成29年	854百万円	816百万円	686百万円	806百万円	905百万円	道の駅しちのへが「じやらん」調べによるお客様満足度第4位となり注目度が高まったこと。また、美術館において「コンドウアキ展」や「タミヤ展Part3」開催に伴い収益が大幅に増加したことにより前年度実績を上回った。 町営スキー場においては、雪不足の影響により昭和32年開設以来初となる営業を断念した。	道の駅:道の駅しちのへ感謝祭の開催、安心して利用できる施設管理等の徹底 美術館:「コンドウアキ展」・「タミヤ展Part3」の開催
	道の駅利用者数	商工観光課	利用客数	1,000,000人	平成30年	774,176人	766,960人	610,358人	703,107人	746,667人	道の駅しちのへが「じやらん」調べによるお客様満足度第4位となり注目度が高まったこと。また、美術館において「コンドウアキ展」や「タミヤ展Part3」開催に伴い入館者数が大幅に増加したことにより前年度実績を上回った。	道の駅:道の駅しちのへ感謝祭の開催、安心して利用できる施設管理等の徹底 美術館:「コンドウアキ展」・「タミヤ展Part3」の開催
	道の駅産直施設売上高	商工観光課	売上高	374百万円	平成30年	356百万円	381百万円	357百万円	409百万円	434百万円	道の駅しちのへが「じやらん」調べによるお客様満足度第4位となり注目度が高まったことに伴い増加傾向にあったため前年実績を上回った	道の駅しちのへ感謝祭の開催、安心して利用できる施設管理等の徹底 施設利用促進に向けた販売スペース等の有効活用(回廊ブース・キッチンカー他)
	観光webサイトのアクセス数	商工観光課	アクセス件数	135,000件	平成30年	117,466件	175,514件	217,926件	344,447件	281,126件	ページビュー数の上位は施設概要で「道の駅しちのへ」「町営スキー場」「東八甲田旅行村」「東八甲田ローズカントリー」の順であった。	適宜、情報の更新を行った。

政策分野2 七戸町の住民の幸せを守り、住みたいという希望をかかなえる

政策分野	重点業績評価指標(KPI)	担当課	KPI算定式 (指標値の把握方法)	目標値 (令和6年度)	基準値		実績 (令和2年度)	実績 (令和3年度)	実績 (令和4年度)	実績 (令和5年度)	R5実績に関するコメント	目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和5年度中に実施した具体的事業・取り組み)
					平成30年	60棟						
2-1 居住環境の整備と移住定住の推進	新築住宅の建築数(年間)	企画調整課	家屋調査件数	66棟	平成30年	60棟	54棟	41棟	51棟	41棟	申請件数は、前年度を下回る結果となり、物価高騰による建築費の増が原因と考えられる。	今年度から新たに事業の見直しをおこない、新築住宅や中古住宅購入への助成事業を開始した。
	空き家等情報バンク登録件数(年間)	企画調整課	空き家等情報バンク登録申請件数	10件	平成30年	6件	3件	4件	7件	3件	登録件数は前年度を下回っているが、空き家に関する問合せは増加しているため、制度の継続運営は必要である。	空き家等情報バンクに登録されている物件の他に、町内事業者のHPと連携し空き家や土地物件を探すことができるように構築した。
	子育て家族の転入世帯数(年間)	企画調整課	住民異動届受付件数	33世帯	平成30年	27世帯	28世帯	22件	18件	20世帯	令和5年度より事業の見直しもあり、申請件数は、前年度を上回る結果となった。	新築住宅の助成内容に子育て加算等を追加した。
	移住相談窓口の利用件数(年間)	企画調整課	窓口での相談件数	200件	平成30年	171件	72世帯	26件	29件	43件	前年度を上回る結果となっているが、目標値に対しての相談件数は少ないため、今後も首都圏等でおこなわれるフェアやポータルサイト等で効率的な情報発信が必要である。	ポータルサイト、YouTubeを活用し、より多くの人に七戸町を認知してもらうべく周知を図った。
	移住定住webサイトのアクセス件数(年間)	企画調整課	アクセス件数	12,000件	平成30年	未実施	20,198件	7110件	8710件	8,504件	前年度より僅かに閲覧件数は下回っている。	新たにPR動画の作成及び掲載、ウェブ広告による首都圏在住者への認知拡大を図った。
2-2 交流人口の拡大	移住支援金支給者数(累計)	企画調整課	補助金申請件数	5件	平成30年	未実施	0件	0件	1件	0件	町への移住推進と、人手不足が顕著な職種・企業への人材を確保し、活性化を目指すこととして令和元年度より事業を開始した。本年度申請が無かったが、今後も継続して事業周知が必要と考えられる。	町誘致企業等に対して制度を説明し、あおりジョブでの求人募集を啓発した。
	町内宿泊者数(年間延べ)	商工観光課	青森県入込観光客数等調査	12,000人	平成29年	8,766人	3,477人	4,072人	6,182人	6,624人	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、利用者が増加傾向にある。	アフターコロナを踏まえつつ、個人の判断と適切な感染症対策のバランスを取りながら環境整備を行った。
	ふるさと納税返礼品(体験型)利用者数(年間)	総務課	申込件数	6人	平成30年	未実施	0人	0人	0人	0	農産物を中心とした返礼品が好調であったが、体験型の返礼品への申込みはなかった。他市町村と比較して、差別化が図れないようなメニューであったと考えている	昨年度から、冬季に移動式サウナを活用した実施する新たな体験型のふるさと納税の返礼品の開発を進めており、提供が可能になれば、他にはあまり見られない者なので、申込者数が見込めると考えている

総合戦略の重点業績評価指標(KPI)に関する資料(令和5年度実績)

目標値には達成していないものの、前年度よりは実績が向上し(維持)目標値に近づいた。
 基準値を上回り(維持し)、目標値に近づいた。
 目標値を達成した。

政策分野3 若い世代の結婚をかなえ、出産・子育てしやすい環境を整える

政策分野	重点業績評価指標(KPI)	担当課	KPI算定式 (指標値の把握方法)	目標値 (令和6年度)	基準値		実績 (令和2年度)	実績 (令和3年度)	実績 (令和4年度)	実績 (令和5年度)	R5実績に関するコメント	目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和5年度中に実施した具体的事業・取り組み)
					平成30年	49人						
3-1 結婚希望者のサポート強化	交流イベント参加者数(年間延べ)	企画調整課	参加者数	100人	平成30年	49人	2人	1人	17人	2人	定住自立圏や町内の団体による婚活イベントを開催できなかったことにより、前年度を下回る結果となった。	令和4年度からあおり出会いサポートセンターにて運用が開始されたマッチングシステム「AI(あい)であう」の登録者に対して、登録料の一部を補助する事業を実施した。また、町内で開催される婚活イベントへの補助や、定住圏による婚活イベントを行った。
3-2 若い世代の出生・子育てにかかる経済的支援	普通出生率(人口1000人あたりの出生数)	企画調整課	人口1000人あたりの出生数	6.3‰	平成30年	5.07‰	4.26‰	3.05‰	3.6‰	3.22%	七戸町総人口:14,425人(令和6年3月1日時点) 出生数:46人	国庫補助の結婚新生活支援事業等、若い世代の結婚を後押しする事業を実施した。また、今年度からみらいかがやく子育て支援金を開始し、子育て世帯の経済的支援をおこなった。
3-3 社会教育の強化などで子育て環境を充実	文化芸術事業への参加者数(年間延べ)	生涯学習課	参加者数	3,000人	平成30年	2,750人	1,850人	1,816人	5,322人	6,324人	子ども園が実施している事業で目標値を超えることができた。	令和4年度に引き続き、同様な事業を実施し目標値を達成する。
	イングリッシュ事業の参加者数(年間延べ)	生涯学習課	参加者数	40人	平成30年	22人	14人	20人	0人	10人	異文化体験教室が参加者が少なかったことから中止となったことで、実績が伸びなかった。	異文化体験教室の申し込み数が少なかったことから、小学生を対象としたジュニアイングリッシュ教室を開催し、実績数を向上させる。

政策分野4 地域住民が輝き、地域全体が活気にあふれる地域づくりを行う

政策分野	重点業績評価指標(KPI)	担当課	KPI算定式 (指標値の把握方法)	目標値 (令和6年度)	基準値		実績 (令和2年度)	実績 (令和3年度)	実績 (令和4年度)	実績 (令和5年度)	R5実績に関するコメント	目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和5年度中に実施した具体的事業・取り組み)
					平成30年	6,215人						
4-1 持続可能な地域づくりの推進	商店街コミュニティスペース利用者数(年間)	商工観光課	利用者数	6,500人	平成30年	6,215人	2,342人	2,001人	1,710人	2,047人	コロナウイルス感染症法上の取扱いが5壘に変更となったため、全体利用者数が前年度に比べ増加した。また、小学生の利用者が大幅に減少したが、中学生の利用者が大幅に増加した。	利用者数は上昇傾向にあり、商店街の経済活性化を図っていくため、ポストコロナに対応した機能や利用方法を検討しながら、多くの人がフリースペースを利用したくなるような仕組みづくりを目指す。
4-2 町民一人ひとりの健康づくりの推進	特定健診受診率	保健福祉課 (R3:健康福祉課)	受診率	60%	平成29年	44.5%	32.6%	42.30%	40.1%	38.80%	後期高齢に移行する世代が増加したことで、受診率が低下した。	個別の通知はがきで受診勧奨をし、受診率の向上を図った。
	健康増進スポーツ参加者数(年間延べ)	生涯学習課	参加者数	500人	平成30年	258人	62人	34人	30人	121人	回数や種目は少ないが、軽スポーツの集い、七戸町民スポーツレクリエーション、指導者等講習会の3つ全てを実施することができた。回数や種目が少ないことから基準値より実績値は低いが、コロナ明けから伸びてきている。	令和5年11月26日(日)七戸町民スポーツレクリエーション72人 令和5年12月2日(土)軽スポーツの集い「スポーツ吹矢体験」7人 令和6年3月2日(土)指導者等講習会42人